

学校だより

令和元年12月23日発行



中国九江市内を
流れる揚子江

明るく 元気に たくましく

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101 E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

FAX 082-250-7102 ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

□ 年末に向けて

ラグビーワールドカップの影響との噂もありましたが、広島県では例年になく早く、10月31日にインフルエンザの流行入りとなりました。今年のインフルエンザA型は、高熱が出るなど強い症状が有り、感染力が強くとすぐに拡大してしまうため、脅威のインフルエンザウイルスと呼ばれています。インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。周囲の方々のためにも「咳エチケット」を心掛けましょう。

咳エチケット



- ①マスクを着用する。
- ②マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れる。
- ③鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐごみ箱に捨て、手の平で咳やくしゃみを受け止めるときは、すぐに手を洗う。咳をしている人にマスクの着用をお願いする。

本校では、各教室で窓を開けて空気の入換えをすることも励行しています。御家庭におかれましても、うがいや手洗いを勧めていただくとともに、児童生徒だけでなく、御家族の皆様にも発熱や咳等の症状がある場合は、早期受診・早期治療に心掛け、万一、インフルエンザと診断された場合は、医師の指示に従い、安静、安眠、水分補給を大切に療養してください。

12月24日より13日間の冬休みに入ります。児童生徒が規則正しい生活を送り、元気に新学期を迎えられるよう御協力をお願いします。

□ 感謝状贈呈式 ～目の前のものをきれいにすることの大切さ～

大新グループ 大新土木株式会社
代表取締役 新田 清剛 殿
貴社は、日頃より本校の教育活動に深い御理解と御協力をください。本年度も学校行事開催日には、児童生徒や来校者が気持ちよく通行できるように、早朝より通学路の清掃をしてくださいました。よってここにその御厚意に対し深く感謝の意を表します。
令和元年十二月十六日
広島市立広島特別支援学校
校長 中尾 秀行



贈呈式後には校内を御案内しました。

12月16日(月)に、大新土木株式会社呉営業所 取締役所長 三好 隆 様、同工事課長 門田 啓晴 様、広島県環境保全公社出島管理事務所 所長 中川 保夫 様をお招きして感謝状贈呈式を行いました。運動会、文化祭など大きな行事のときに、周辺の道路がきれいに片付けられていたのをご存じでしたか？その際に学校周辺の清掃活動をずっと行ってこられたのがこの事務所・営業所の皆さんです。誰から頼まれた訳でもなく、純粋にこの学校の想いをくみ取ってこの活動を続けてこられました。心から感謝したいと思います。

仕事の始まりは目の前のものをきれいにすることです。きれいにすると愛着が湧き、そうすることでものを大切にします。ものを大切にしない人は人も大切にしない。その結果自分の人生すらも大切にしない。今回の感謝状をお渡しする機会は、私たち自身が今一度自分たちのあり方を見直すいいきっかけにもなりました。管理事務所、及び呉営業所の皆様、本当にありがとうございました。

□ 第12回広島市商ピースデパートへの参加

11月30日(土)、12月1日(日)に、本校高等部が広島市商ピースデパートに参加しました。今年度で11回目となり、参加以来同じ市立学校の生徒同士で連携を図り、交流を深めてきました。

本校のブースでは、高等部の作業学習で作った製品を販売しました。販売活動に参加した生徒は、他校のブースから聞こえる呼び込みの声を聞きながら、本校も負けじと一生懸命販売活動を行いました。また、友達の作った大切な製品を丁寧に優しく扱いお客様に渡している生徒の姿もありました。今年度も他校の高校生と共に活動する貴重な機会となりました。生徒の送迎等、御協力くださいました保護者の皆様には感謝いたします。

販売活動をする本校生徒 →



広島市教育長 糸山 隆 様にもお買い上げいただきました！



大盛況でした！



工夫の凝らされた陳列

□ 同窓会お楽しみ会



準備中?のサンタさん、トナカイさん



恒例の校長先生クイズ



恒例のビンゴゲーム

12月8日(日)に、平成31年度同窓会お楽しみ会を行いました。203名の卒業生と81名の保護者・教員の参加がありました。

役員がサンタやトナカイの着ぐるみで登場し、〇×クイズやビンゴゲーム、クリスマスソングなどで大いに盛り上がりました。最後は懐かしい校歌を肩を組んで歌う姿も見られました。

半年に一度の同窓会、これからも、同窓会が卒業生が集う貴重な場になることを願っています。そして、本校が卒業生の心のよりどころとなるよう努めていきたいと思ひます。

□ 第2回企業学校見学会

12月4日(水)に、平成31年度第2回企業学校見学会を開催しました。今回は広島銀行を始め15の企業から25名の方に御参加いただきました。作業学習など授業見学の後、生徒による学校生活についてのプレゼンテーションや、職業コース1年生の生徒と参加者との交流会を行いました。初めての体験に最初は緊張していた生徒も、たくさんの方と話をするうちに、次第に笑顔が見られるようになりました。将来の夢や学校生活で充実していることなどの話をする生徒もいました。年に2回開催します企業学校見学会は、本校の教育や生徒のことを知っていただく貴重な機会です。今後もより多くの方に御来校いただき、本校に関心をもっていただけるよう尽力してまいります。御参加いただきました企業の皆様、ありがとうございました。



生徒によるおもてなし



参加者と生徒との懇談

□ 学校協力者会議

12月11日(水)に、第2回学校協力者会議を行いました。今回は、6名の委員の皆様に参加していただき、小学部1年生の生活単元学習、小学部4年生の図工、中学部の音楽、高等部1年生の国語、職業コースの3年生家政の授業の様子をそれぞれ参観いただきました。参観後、二つのグループ(提言部会及び評価部会)で協議していただき、学校の授業環境づくりの素晴らしさや先生方の熱意や教材等の工夫について感心されておられました。また外部人材の積極的な導入に向けての御助言や学習指導要領の改訂による指導方法の改善に対する御意見を頂戴し、貴重な御示唆を数多くいただくことができました。今後大きな変化が求められる教育の一翼を担うべく活動に生かしていきたいと思ひます。委員の皆様、御助言いただき、ありがとうございました。



授業参観の様子 ←

□ 中国 九江市特殊教育学校訪問

12月12日(木)~15日(日)に、本校が姉妹校提携を結んでいる中国九江市特殊教育学校を校長他3名で訪問しました。市内を揚子江が流れるこの街並み(標題横の写真)は中国の歴史の重みを感じさせます。13日(金)には、この学校で開催される九江市特別支援教育の研究会で講演をしました。中国での教育事情は、日本とはかなり異なる部分がありますが、特別支援教育の土台となる考え方は共通しています。主に自閉症児への取組について話した講演は国境を越えて当地の多くの先生方の心に伝わり、講演後は大きな拍手が寄せられ、多くの方々から握手を求められました。

その後校内を案内していただき、中国のトップクラスの施設に大いに驚かされました。また子どもたちは本校の子どもたちに負けないうくらい元気で明るく、日本から来た私たちに大きな声で「おはようございます。」と日本の挨拶をする姿がとても印象的でした。このような国際的な交流を今後更に推進していきたいと思ひます。



講演では本校の紹介もしました。左は通訳をされる大学の先生です。



皆さんから花束をいただくなど熱烈的な歓迎を受けました。



近代的な校舎と設備でした。

グラウンドは人工芝にタータン敷設でした。



黒板とチョークの使用でしたが

開くと、中央に電子黒板が登場します。